

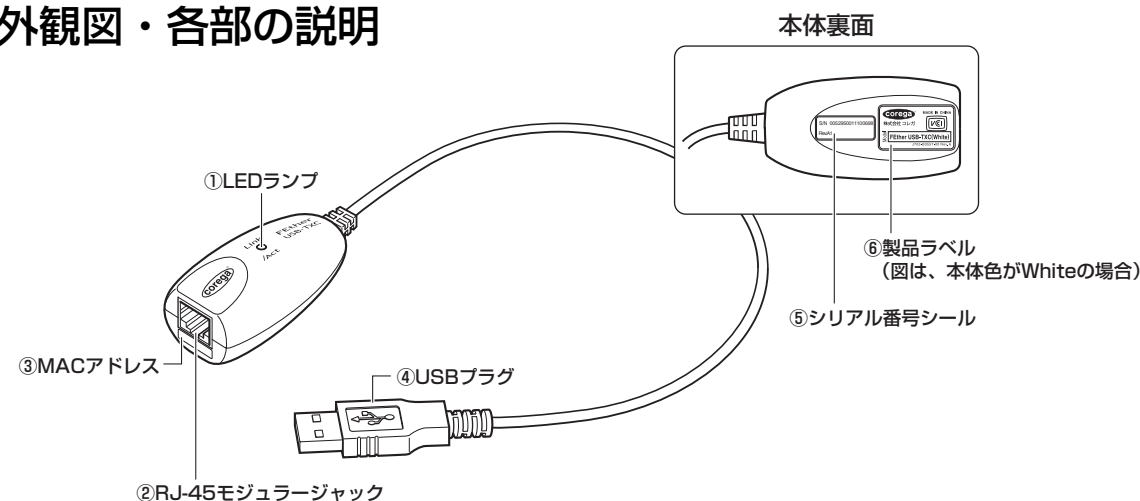
# corega FEther USB-TXC インストールガイド

## Windows 2000/XP 編

### 本紙の読み進め方

本紙では、Windows 2000/XP での本製品のインストール作業について説明しています。Windows 2000 をお使いの方は **2000**、Windows XP をお使いの方は **XP** が付いたところをお読みください (画面は Windows XP のものを使っています)。

### 外観図・各部の説明



- ① LED ランプ**  
環境条件により、以下のように変化します。  
点灯 (緑)：100Mbps で Link が確立しています。  
(橙)：10Mbps で Link が確立しています。  
点滅 (緑)：100Mbps でパケットを送受信しています。  
(橙)：10Mbps でパケットを送受信しています。
- ② RJ-45 モジュラージャック**  
LAN ケーブルを接続するコネクタです。
- ③ MAC アドレス**  
本製品の MAC アドレスが記入されています。

- ④ USB プラグ (USB シリーズ A プラグ)**  
パソコンの USB シリーズ A ポートに接続します。
- ⑤ シリアル番号シール**  
本製品のシリアル番号 (製造番号) とリビジョンが記入されています。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。
- ⑥ 製品ラベル**  
本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記入されています。必ずお読みください。

## 1 CD-ROM ドライブ名を確認しよう

あらかじめ、ご使用のパソコンの CD-ROM ドライブ名 (D、E、Q などの英文字) を必ず確認し、メモしておきます。

### STEP 1

**XP 2000**

パソコン購入時に Windows がすでにインストールされていた場合、Windows のバックアップ CD-ROM があるか確認しましょう。もし無い場合は、Windows のマニュアル等を参照して、バックアップをフロッピーディスク等に必ずとりましょう。バックアップ方法に関しては、パソコンメーカーにご確認ください。

### STEP 2

**XP**

1. 「スタート」→「マイコンピュータ」をクリック



2. ご使用のパソコンの CD-ROM ドライブ名 (D、E、Q などの英文字) を確認し、メモしておく



**2000**

1. 「マイコンピュータ」をダブルクリック



2. ご使用のパソコンの CD-ROM ドライブ名 (D、E、Q などの英文字) を確認し、メモしておく



## 2 パソコンに取り付けてドライバーをインストールしよう

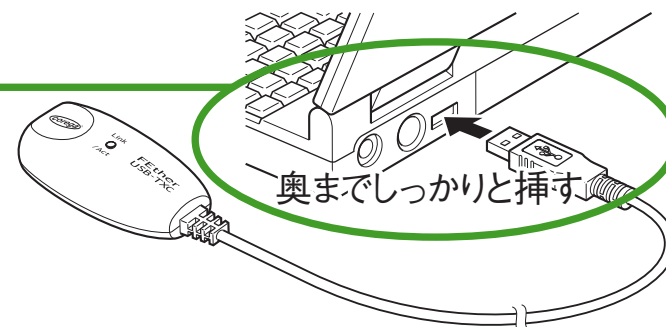
### STEP 1

**XP 2000**

パソコンの電源を入れて、「コンピュータの管理者」(Windows 2000では「Administrator」) が同等の権限を持つユーザー名でログオンします。この時点では、まだ本製品を取り付けないでください。

### STEP 2

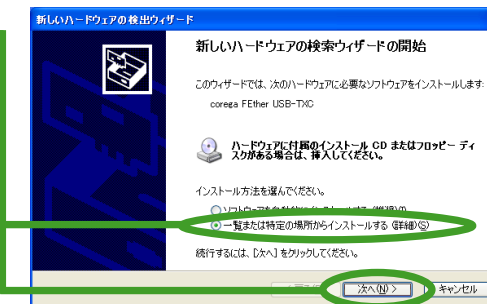
本製品の USB プラグをパソコンの USB ポートに奥までしっかりと挿し込みます。



### STEP 3

**XP**

1. 「一覧または特定の場所からインストールする (詳細)」を選択して「次へ」をクリック



**2000**

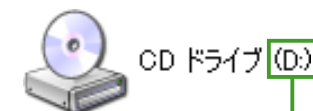
1. 選択オプションがないのでそのまま「次へ」をクリック  
2. 次のダイアログボックスで「デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選択し、「次へ」をクリック

### STEP 4

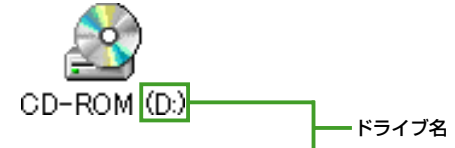
**XP 2000**

1. 手順 1 の STEP2 でメモしておいた CD-ROM ドライブ名 (D、E、Q などの英文字) を確認します。本製品付属の取扱説明書では、CD-ROM ドライブを「D:」として説明しております。「D:」をご使用のパソコンの CD-ROM ドライブ名に置き換えてお読みください。  
2. 製品付属のユーティリティディスク (CD-ROM) をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入

Windows XP



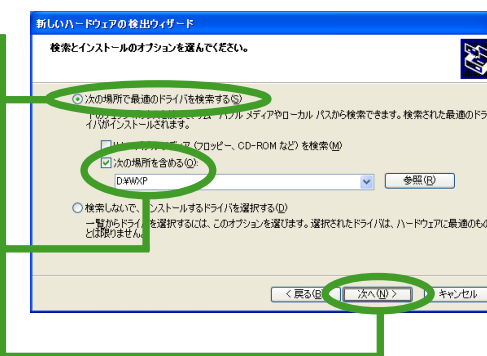
Windows 2000



### STEP 5

**XP**

1. 「次の場所で最適なドライバを検索する」を選択し「リムーバブルメディア (フロッピー、CD-ROM など) を検索」のチェックをはずして「次の場所を含める」にチェックを付ける



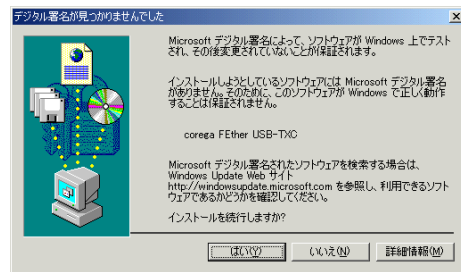
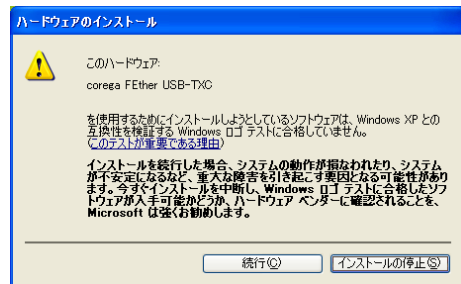
2. 「D:\¥WXP」(STEP4 参照) と入力して「次へ」をクリック

**2000**

1. ダイアログボックスで「場所を指定」のみを選択して「次へ」をクリック  
2. 「製造元のファイルのコピー元」欄に「D:\¥W2K」(STEP4 参照) と入力して「OK」をクリック  
3. 最適なドライバの検索結果で「d:\¥W2K¥netcokk.inf」と表示されていることを確認して「次へ」をクリック



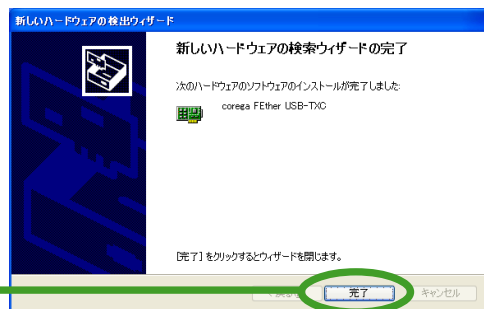
**STEP 5** の操作をすると、Windows XP/2000 両方ともハードウェアとの互換性やデジタル署名についての警告メッセージが出ることがありますが、弊社にて動作確認をとっておりますので、「続行」または「はい」をクリックし先にお進みください。



インストール完了!!

XP 2000

「完了」をクリック



これでドライバーのインストールは終了です。続いて「3. ドライバーを確認しよう」へお進みください。

## 3 ドライバーを確認しよう

STEP 1

XP

「スタート」→「マイコンピュータ」から「システム情報を表示する」をクリックし「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックします。

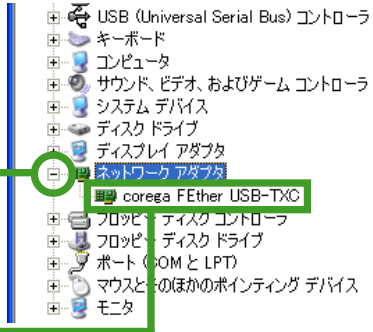
2000

「マイコンピュータ」を右クリックし「プロパティ」から「ハードウェア」タブを表示して「デバイスマネージャ」をクリックします。

STEP 2

XP 2000

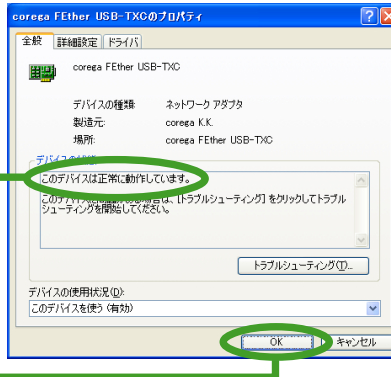
1. 「ネットワークアダプタ」の「+」マークをクリックして展開
2. 「corega FEther USB-TXC」と表示されているら、ダブルクリック



STEP 3

XP 2000

「このデバイスは正常に動作しています」と表示されているらインストールは正常に終了しています。「OK」をクリックして画面を閉じてください。

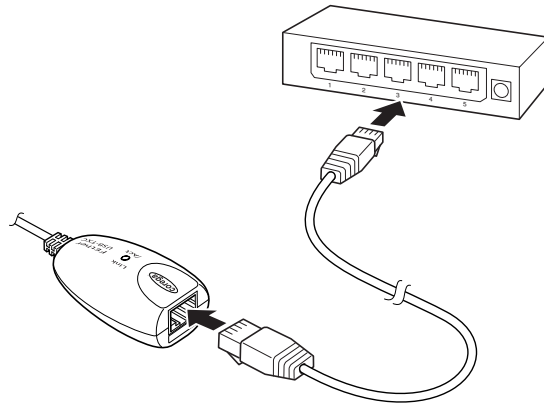


## 4 LANに接続しよう

ドライバーが正常にインストールできたことを確認できたら、本製品を利用してパソコンをLANに接続します。

STEP 1

LANケーブルのRJ-45モジュラープラグを、本製品のRJ-45モジュラージャックに「カチッ」と音がするまで挿し込みます。両端のプラグのどちらを差し込んでかまいません。



LANケーブルは、以下の規格のものを使用してください。コレガ社製ケーブルをご使用されることをおすすめします。  
100BASE-TXの場合：カテゴリ 5 以上  
10BASE-Tの場合：カテゴリ 3 以上

STEP 2

LANケーブルを軽く引いてみて抜けないことを確認します。

### LANケーブルを外す場合は

RJ-45モジュラープラグのツメを指で押えながら手前に引くと、プラグを抜くことができます。



安全のために

必ずお守りください



**警告**  
下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

**雷のときはケーブル類・機器類にさわらない**  
感電の原因となります。

**設置・移動のときは電源プラグを抜く**  
感電の原因となります。

**異物が入れない 水は禁物**  
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

**高温注意**  
本製品の使用後は高温になっています。不用意に触れると、やけどの恐れがあります。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください  
・直射日光の当たる場所  
・暖房器具の近くなどの高温になる場所  
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）  
・湿度の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）  
・振動の激しい場所  
・ほこりの多い場所や、ジュタンを敷いた場所（静電気障害の原因となります）  
・腐食性ガスの発生する場所

**静電気注意**  
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

**取り付け・取り外しの際の注意**  
パソコンのUSBポートに本製品を取り付ける作業は、必ず本取扱説明書、およびご使用のパソコンの取扱説明書を参照の上、正しく行ってください。

**長期保管や持ち歩くときはキャップを付けて**  
長期保管やパソコンから取り外した場合は、キャップを付けてください。

**取り扱いがいない**  
落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で誤動作の原因となります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く  
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください）

## USBに関する注意

USB対応周辺機器は、ご使用のパソコンメーカーが動作を保証している製品を使用してください。

- ・本製品は、USBハブではご使用いただけません。
- ・本製品と本製品またはUSBポート用LANアダプタを1台のパソコンに2個以上併用した場合、正常に動作いたしません。必ず1台のみ設置してください。
- ・スタンバイ状態への移行時、復帰状態への移行時に本製品のUSBプラグの挿抜は行わないでください。また、スタンバイ状態からの復帰時、パソコンの機種によっては、本製品が正常に動作しないものがあります。（スタンバイ状態への移行、復帰状態への移行につきましては、サポート対象外とさせていただきます。）
- ・本製品のUSBプラグの挿抜を行うときは、必ず、10秒以上間隔をおいて行ってください。
- ・本製品が正常に認識されていない場合は、一度本製品を取り外し、差し直してください。
- ・ホットプラグ機能では、USBプラグの抜き差しが自由に行えます

が、USBプラグを頻繁に抜き差ししたり、複数のUSB対応周辺機器のUSBケーブルを同時に抜き差ししたりすると、パソコンのハングアップや、Windowsのシステムファイルの破壊を招く恐れがあります。上記の注意をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきますので、予めご了承ください。

- ・USB増設ボードをご使用になりUSBポートを拡張する際は、正しく取り付けをご使用ください。尚、本製品が正常に通信できない場合は、ご使用の増設ボードメーカーにお問い合わせください。
- ・USBプラグ（USBシリーズAプラグ）の差し込み方法は、パソコンの機種によっては、下や横に向けて装着するものもあります。必ずご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ・本製品を使用中は、サスペンドレジューム機能は使用しないでください。本製品を使用中にパソコンがサスペンド状態になった場合は、通信の切断やその他予期しないエラーが発生することがあります。

ドライバーの詳細な設定やトラブルシューティングなどは、ユーティリティディスク（CD-ROM）内の「index」をご参照ください。